

【獣医学部 獣医保健看護学科、動物応用科学科】

【生命・環境科学部 臨床検査技術学科、食品生命科学科、環境科学科】

2026 年 1 月 30 日実施 一般入学試験（第Ⅰ期）A 日程

出題の意図

【化学】

各日程とも、大問 1 では物質の分類、原子の構造、化学結合を中心に「物質の構成と構造」に関する理解度、大問 2 では物質量、溶液濃度、固体溶解度、化学変化と量的関係を中心に「化学の基本計算」に関する理解度、大問 3 では酸と塩基、酸化と還元、化学平衡などを中心に「物質の状態と化学変化」に関する理解度、大問 4 では「無機物質の性質と反応」、「有機化合物の性質と反応」に関する理解度を確認することを意図して出題しています。

【生物】

大学に入学後、専門的に生物学を学習する前に、身に付けておいてほしい内容を中心に出题しています。代謝や遺伝子発現などの分子レベル、細胞のはたらきや構造などの細胞レベル、眼や筋肉などの器官レベル、発生や恒常性などの個体レベルの関連性の理解を求めています。また、生態系について、生物学習者の常識があるかも求めています。さらに、読解問題を通し論理的な思考力も問うています。

【数学】

高校の数学を通じて学ぶ論理的思考力、数的リテラシーは、大学での勉強や現代社会において大変重要となります。これらを測るため数学Ⅰ・Ⅱ・A の内容について「問題文を正確に理解し、これを式に置き換えて適切な計算を行う」、「図やグラフを活用し、これらから得た情報をもとに適切な公式を用いる」能力を問う事を心掛けて出題しました。

【英語】

本学の学生に期待される英語力とは、英語での基礎的な読み書き能力を意味しています。自動翻訳等の AI 技術が進歩した昨今では、英語で書かれた難解な論文を 100%理解し、自分の考えを的確な英語で伝えるという能力は必ずしも不可欠なものではありません。ただし、平易な内容ならそのようなツールを利用しなくても理解し、発信できるだけの基礎的英語力はこれからの時代にも必要だと考えます。本学では、このような基礎力が身についているかどうかを測ることを意図しました。